



拉致問題 について 考える

埼玉県立図書館
ウェブサイト



埼玉県立
熊谷図書館

熊谷市箱田
5-6-1
048-523-6291

2024.7

『拉致問題を超えて 平和的解決への提言』
(江口昌樹／著 社会評論社 2017)

全5章の構成で、北朝鮮の拉致問題や人権問題を概観した内容の資料です。特に第1章では日本だけでなく韓国やタイにおける拉致事件にも触れています。本書後半では、政治学や国際社会の観点で日本と北朝鮮の外交を論じており、拉致問題の解決に向けて何が必要か、筆者の考えが述べられています。

埼玉県の 取り組み

拉致問題 とは

現在日本政府は、17名の方々を北朝鮮による拉致被害者として認定しています（令和6年7月時点）。その中には埼玉県出身の方もおられます。

北朝鮮による拉致問題の解決には、国民の強い意志を北朝鮮や政府に伝え、動かしていく必要があります。そのために、埼玉県では拉致問題解決に向けた様々な活動を行っています。

署名活動への協力や政府への働きかけをはじめ、毎年9月に埼玉県民の集いを開催しています。他にも、拉致問題へ意識をむけていただくために、巡回パネル展示や舞台劇の開催など、様々な活動を行っています。

拉致問題 とは

埼玉県の 取り組み

『拉致問題を超えて 平和的解決への提言』
(江口昌樹／著 社会評論社 2017)

全5章の構成で、北朝鮮の拉致問題や人権問題を概観した内容の資料です。特に第1章では日本だけでなく韓国やタイにおける拉致事件にも触れています。本書後半では、政治学や国際社会の観点で日本と北朝鮮の外交を論じており、拉致問題の解決に向けて何が必要か、筆者の考えが述べられています。

現在日本政府は、17名の方々を北朝鮮による拉致被害者として認定しています（令和6年7月時点）。その中には埼玉県出身の方もおられます。

北朝鮮による拉致問題の解決には、国民の強い意志を北朝鮮や政府に伝え、動かしていく必要があります。そのために、埼玉県では拉致問題解決に向けた様々な活動を行っています。

署名活動への協力や政府への働きかけをはじめ、毎年9月に埼玉県民の集いを開催しています。他にも、拉致問題へ意識をむけていただくために、巡回パネル展示や舞台劇の開催など、様々な活動を行っています。

拉致問題 について 考える



LibraryNAVI

埼玉県立図書館
ウェブサイト



埼玉県立
熊谷図書館

熊谷市箱田

5-6-1

048-523-6291

2024.7



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

埼玉県
拉致問題に関する
ホームページ



いて考えてみませんか。

皆様もこの機会に北朝鮮による拉致問題につ
のでご覧ください。

しては、県のホームページに公開しております
埼玉県の取り組みや実施行事の詳細につきま
きっかけに作成したものです。

課が実施する「拉致問題を考えるパネル展」を
このブックリストは、埼玉県福祉部社会福祉

埼玉県の
取り組み2

北朝鮮を
知る

『北朝鮮を知るための55章 第2版』
(石坂浩一／編著 明石書店 2019)

本書は、7部構成・55章立てで北朝鮮の歴史・
政治・経済・社会・文化・外交といった幅広い
分野を解説しています。各章の末尾に参考
文献が掲載されており、巻末には「北朝鮮を
知るブックガイド」として役立つサイトと参
考文献がまとめて紹介されています。北朝鮮
を知るはじめての1冊にいかがでしょうか。

これら2冊は、拉致被害者家族である蓮池透氏
の手記です。1の資料の冒頭では、2002年10月
15日に5名の拉致被害者が帰国した様子が語ら
れ、巻末には2003年3月までの事項をまとめた
「北朝鮮による日本人拉致事件年表」があり
ます。2の資料では、拉致被害者とその家族、
家族会の様子が著者である蓮池氏からの視点
で綴られています。

(蓮池透／著 新潮社 2005)

2 『奪還 第二章』

(蓮池透／著 新潮社 2003)

1 『奪還』

手記を
読む

1 『奪還』

(蓮池透／著 新潮社 2003)

2 『奪還 第二章』

(蓮池透／著 新潮社 2005)

これら2冊は、拉致被害者家族である蓮池透氏
の手記です。1の資料の冒頭では、2002年10月
15日に5名の拉致被害者が帰国した様子が語ら
れ、巻末には2003年3月までの事項をまとめた
「北朝鮮による日本人拉致事件年表」があり
ます。2の資料では、拉致被害者とその家族、
家族会の様子が著者である蓮池氏からの視点
で綴られています。

本書は、7部構成・55章立てで北朝鮮の歴史・
政治・経済・社会・文化・外交といった幅広い
分野を解説しています。各章の末尾に参考
文献が掲載されており、巻末には「北朝鮮を
知るブックガイド」として役立つサイトと参
考文献がまとめて紹介されています。北朝鮮
を知るはじめての1冊にいかがでしょうか。

『北朝鮮を知るための55章 第2版』
(石坂浩一／編著 明石書店 2019)

北朝鮮を
知る
埼玉県の
取り組み2

このブックリストは、埼玉県福祉部社会福祉
課が実施する「拉致問題を考えるパネル展」を
きっかけに作成したものです。

埼玉県の取り組みや実施行事の詳細につきま
しては、県のホームページに公開しております
のでご覧ください。

皆様もこの機会に北朝鮮による拉致問題につ
いて考えてみませんか。

埼玉県
拉致問題に関する
ホームページ



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」